

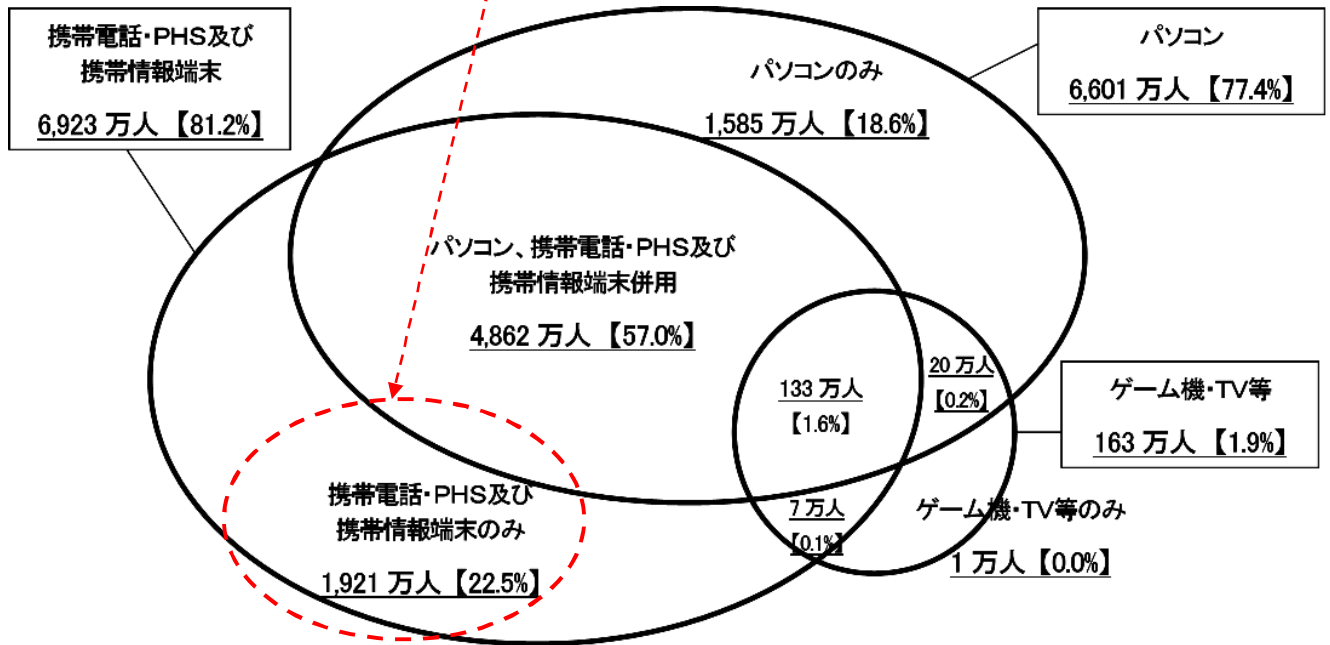
おかげさまで三周年と三ヶ月半^^

拝啓。

どうやらやっと入梅のようです。私は雨の季節がそんなに嫌いではありません。土砂降りは御免ですが、しとしとと降る雨の中、好きな映画を見たり、本を読んだりするのは一年の中でもびっぴりの時期だと思っています。皆さんはいかがですか？（実は今は暑くてひっくり返っています）


今日は予定していた原稿ではなく急遽テーマを差し替えました。御記憶かもしれませんが、001号で総務省の「平成17年通信利用動向調査」の調査を元に、ネットに「ケータイ」だけでつながっている人達が急増している。それゆえ、調査環境が非常に厳しくなっているというものでした。下図参照

（ネットにモバイルだけでしかつながっていない人がほぼ2000万人に達しようとしています。）

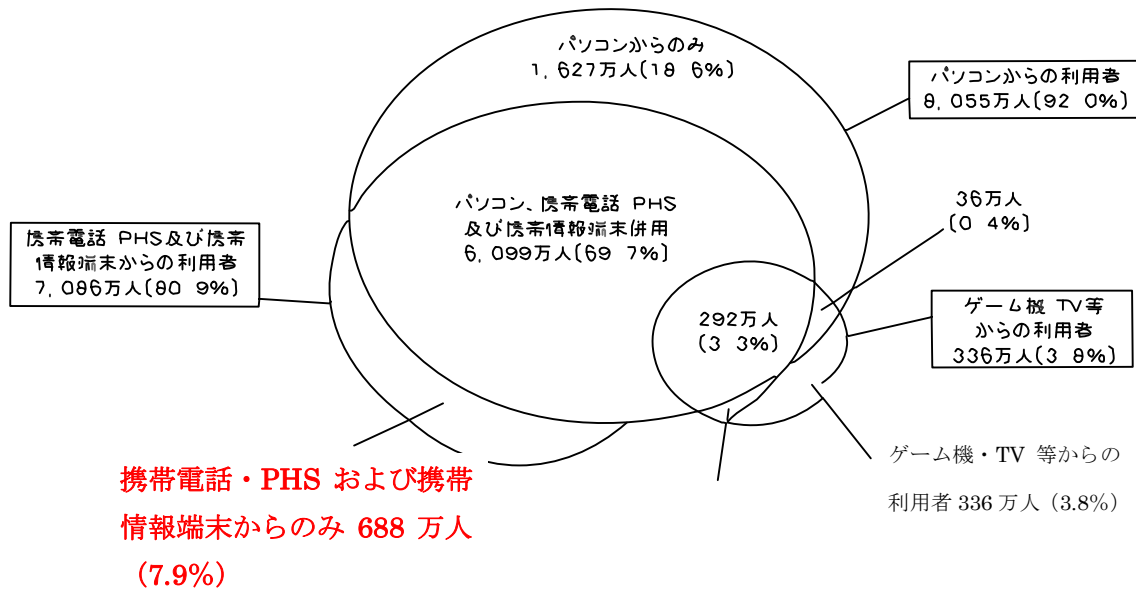


ところが、このNLの読者の方から「今年の結果が発表になってるけどどういうこと？」というお問い合わせを受けました。早速取り寄せたところ「????@??????」まずは次ページの図をご覧ください。そう、「ケータイ」のみでネットにつながっている人達が急減しているのです！

平成16年	平成17年	平成18年
1511万人 (19.0%)	→ 1921万人 (22.5%)	→ 688万人 (7.9%)

そんなバカなあ！  いくらなんでもこんなに大きな構造変化がこの一年で起きるはずがない！早速、総務省の情報通信政策局総合政策課にお問い合わせの電話をしました。

平成 18 年通信利用動向調査より



当然のことですが、調査方法、設問の聞き方等に変更はなかったのかを尋ねました。「調査の他の設問では一部変更はあったが、この設問に関して変更はしていない」とのこと。ではいったいなにがあったのでしょうか？

公式見解

ブロードバンド回線利用者における光回線の利用率が14.8%から27.2%へと倍増。また、個人のインターネット利用端末については、**パソコンの利用者数が前年末から1,454万人増加(22.0%増)**して推計8,055万人に到達。また、インターネット利用者(推計8,754万人)の7割(69.7%。推計6,099万人)がパソコンと携帯電話・PHS等の移動端末を併用。

加入者系光ファイバ網の普及に伴い、コンテンツもテキストや静止画から音声や動画へと大容量化が進み、移動端末のみでの利用だけではこのような容量の大きなコンテンツを利用したサービスを満足に享受することができない利用者が増加し、**パソコンを併用することによって、利用するサービスごとにパソコンと移動端末とを使い分ける傾向の高まったことが背景にあるもの**と考えられる。

大胆な推理(笑)です

確かに「U-TUBE」を初めとして映像系のニュースが多かった昨今。しかし、それでこんなに数字が動きますか？むしろ実感値としては「ケータイのみ」がますます増えているような気がするのですが……。結構粘って、いろいろ聞きだそうとしたのですが、上記の「分析」以上の見解を引き出すことは出来ませ

んでした。**嘘だね、なんか隠しているでしょう(笑)。**

事実、同じ調査の中で、インターネットの利用目的を尋ねている設問の中で「デジタルコンテンツ（音楽・音声・映像・ゲームソフト等）の入手・聴取」という選択肢があるのですが、ケータイで 21.4% PC で 17.2% とそれほど高くはないのです。この設問の前年比を見ようとしたのですが、微妙に選択肢が変わっていて単純な比較が出来ないのですが、「音楽のデジタルコンテンツの入手・聴取」ケータイ 26.2%、PC16.3% ほとんど変わってないじゃん！

年金問題じゃないけど、なんか誤魔化している？年代別のクロスデータ等の提供をお願いしたのですが、



「ありません」の一言。おいつ！


もう総務省をあてにするのはやめて、自分なりの解釈を試みます。しかしながら、

1511 万人 (19.0%) → 1921 万人 (22.5%) → 688 万人 (7.9%)

と言う数字に対する合理的な解釈は難しい。私の頭が悪いのか、数字が間違っているのか？

要するにケータイだけが減ったと言うことは、PC・ケータイ両方からネットにアクセスする人がこの一年間に 1200 万人増えたって言うことと同じです。どっちにしても説明は難しい。

確かに映像系のコンテンツが増えていることは事実。ケータイからでは映像系のコンテンツを見るのは難しいのも事実。U-TUBE をチラッとだけみた人が、凄く多かった、くらいしか思いつきません。さて、

困った。 調査そのものはきちんと行われています。郵送調査、サンプル数も 13000 人。それだけに不可解です。経年調査でこれだけの変化が観察されることは私の経験上はありません。

この調査結果が事実に近い（一步譲って）、と仮定しても、若年層を中心にして**プライベートではケータイで大部分の生活を済ませてしまう人々が増える**と言う、私の仮説は揺るがないと確信しています。何でそんなに断言できるのかって？残念ながら書けないのですが、そういう仕事をしているからです（笑）。この辺が受託調査を生業にしていると辛いところですね。業種業界を隠してイニシャルトークならできるかもしれません。呼んで下さい^^；。

いずれにせよ、「平成 19 年通信利用動向調査」の結果が楽しみです（一年後ですが）。

総務省 VS R-REAEACH (笑)

株式会社アール・リサーチ 〒271-0051 千葉県松戸市馬橋 1896-1 ヴィレッジ K・I 馬橋 3 F

Tel 047-342-3181 mobile 090-7428-8999 mail : ryubon@kkd.biglobe.ne.jp

http://www.ex-recruit.com/company/rresearch_info.html